

## 耐震構造の研究グループに最優秀賞の栄冠 県内5校が課題研究を発表

岩手県内の理数科、SSH校の5校が富士大学を会場に「岩手県高等学校理数科課題研究発表会」で発表しました。この発表会は平成13年から開催され、今回で15回目です。水沢高校からは、「CVD法によるダイヤモンド合成条件の確立」と「最強の建物を作るには～with耐震構造～」の2テーマを口頭発表しました。発表会は13分の各学校の発表、7分間の質疑応答がありました。各学校から選ばれた高いレベルの発表後には参加した生徒からたくさんの質問が出され、大変活発な発表会となりました。

発表会後には岩手大学農学部の宮崎雅雄准教授と工学部の荒木功人准教授に大学の研究について講演をして頂きました。その中で、二人の先生方から「各グループ共に原稿を見ることなく堂々と発表している。参加者から活発な質問があり、有意義な意見交換ができて素晴らしい」と評価して頂きました。

発表順	研究テーマ	学校名
1	ペルチェ素子を利用した温度差発電	盛岡第三高等学校
2	塩害土壌の再生	一関第一高等学校
3	振動発電の追求	盛岡第一高等学校
4	CVD法によるダイヤモンド合成条件の確立	水沢高等学校
5	蚊の生態調査	釜石高等学校
6	カフェインとメダカの趨流能力に関する研究	盛岡第一高等学校
7	自由自在に映し出せ！～プロジェクションマッピングの探求～	一関第一高等学校
8	ダイラタンシーの可視化によるトルク発生原理の解明	盛岡第三高等学校
9	柿子柿由来の柿タンニンによる抗菌作用について	釜石高等学校
10	最強の建物を作るには～with耐震構造～	水沢高等学校

審査の結果、水沢高校の「最強の建物を作るには～with耐震構造～」が最優秀賞、盛岡第三高校の「ダイラタンシーの可視化によるトルク発生原理の解明」と釜石高校の「甲子柿由来の柿タンニンによる抗菌作用について」が共に優秀賞を受賞しました。

### 最優秀賞を受賞した生徒のコメント

- 自分たちの研究をわかりやすく説明することができ、評価されてとても嬉しかったです。これからの研究への意欲につなげ、より良い研究成果を皆さんにお伝えできるように研究を進めていきたいと思います。（小沢成優）
- ギリギリまで研究して臨んだ発表会で、このような賞をいただき、とても嬉しかったです。これからも発表をする機会があると思うので、さらに良い発表ができるように努力したいと思います。（及川勝仁）
- 私たちの研究成果が周りの方に評価されたことが嬉しく心から喜びがあふれました。最優秀賞をいただくことができたので、これからの研究発表に自信を持って挑みたいと思います。地震の被害から一人でも多くの方を救えるように、今後も研究に励んでいきたいです。（上野聖）



閉会式で表彰を受ける生徒